

発言者	内 容
事務局	開催宣言及び定足数確認
会議の公開・非公開	
崎元委員長	公開・非公開についての検討。 会議次第により公開しても支障がないと思われる旨説明。 他委員の同意があり、本日の会議は公開することに決定。
議題 平成24年度業務実績評価について	
崎元委員長	それでは、議事に入ります。 議題の「平成24年度業務実績評価」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料1～資料3及び県立大学からの補足説明資料により「平成24年度業務実績評価」について説明。
崎元委員長	項目別評価について、委員の皆様方から何か、御意見、御質問があればお願いします。 まず、資料39ページ、「3 平成24年度評価の概要」について審議を行います。
清家委員	事業番号の 63 「個人情報保護に関するソフト面での対策として外部講師による研修を実施する」となっています。こちらについては、評価は研修を実施したことによりA評価となっています。平成24年度の年度計画では仮に参加者がゼロであっても、研修を実施すればA評価になってしまうことに疑問を感じました。次年度以降は、研修を実施することを成果とはせず、もう少し年度計画の立て方を工夫してほしいと思いました。
崎元委員長	どのような記載が適切でしょうか。
清家委員	今回の研修では欠席者に資料を配布したということでしたが、配布するだけでは資料に目を通したかわかりません。 研修への出席率や欠席者の場合はレポート提出を求める等、もう一步踏み込んだ計画を立てればよいのではないのでしょうか。
崎元委員長	他の委員からも、年度計画において数値目標が必要といった意見がありました。計画の立て方に注意が必要だと感じますが、いかがでしょうか。

元山委員	<p>年度計画にはできるだけ数値目標を立てないと、評価の根拠が出てこないと思います。数値目標を達成するために、具体的な戦術や手段が出てくるわけで、できるだけ数値化した方がわかりやすいと思います。</p> <p>先ほど話のあった研修についても、中期計画では「学内啓発を徹底する」としてあります。「徹底」とするなら、研修をただけでいいのでしょうか。当日欠席者に対するフォローアップの意味からテストを実施する等、さらに踏み込んだ対応をしないと徹底とは言いにくいのではないかと思います。</p> <p>ただ、今回の評価について異存があるわけではありません。</p>
崎元委員長	<p>63については課題とはしませんが、事務局から法人に対し、次年度以降の計画策定の際に以上のようなことを検討するよう評価委員会から意見があった旨伝えてください。</p>
事務局	<p>了解しました。</p>
崎元委員長	<p>事業番号 22の英語教育についても、不十分な点があります。</p> <p>第1回の評価委員会で、法人から英語力の評価を何でやるのかというのは、十分な議論が必要なもので、まだ決めきれていないという説明がありました。</p> <p>そのため、中期計画を変更するのかという投げかけを行いました。中期計画は変更しないということでした。そうであるならば、計画の達成状況を示せるような行動をとる必要がありますので、今回は課題として挙げています。</p>
崎元委員長	<p>他に御意見がなければ、項目別評価については、案のとおり確定してよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>(了承の声あり。)</p>
崎元委員長	<p>続いて、資料3「平成 24 年度公立大学法人熊本県立大学業務実績評価書」の内容や表現について御意見をいただきたいと思います。</p>
山口委員	<p>文章の重要な部分に鉤括弧が付されていますが、重要でない部分も鉤括弧が使われているようです。鉤括弧の付し方が適切なのか疑問に思います。</p>
事務局	<p>鉤括弧の付け方については、見直します。</p>
崎元委員長	<p>「1 全体評価」の論調、構成はこれでよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>(了承の声あり。)</p>
崎元委員長	<p>続いて、「2 項目別評価」について審議します。</p> <p>(1)「大学の教育研究の質の向上」について御意見はありませんか。</p>

清家委員	(オ)管理栄養士の国家試験についてですが、全体評価の課題では「管理栄養士の合格率90%以上の目標が達成できなかった。」としていますが、項目別評価では「合格率が全国平均を下回った」としてあります。中期計画では90%以上の合格率を目指すとしていますが、年度計画ではそこまで言っていません。そのため、全体評価の課題の表現を項目別評価に合わせてはどうかと思います。
事務局	県立大学は管理栄養士の養成校でありますので、常に高い合格率を設定しています。管理栄養士の合格率90%以上という目標は、英語等の目標と違い、徐々に上げていくものではありません。前中期計画から、90%以上としています。
崎元委員長	毎年90%以上の合格率を目指すということですね。
清家委員	そういうことであれば、項目別評価の記述を全体評価の記述内容と揃えることでいいと思います。
崎元委員長	「中期計画において設定している90%以上の合格率を下回った。」という表現に変えたいと思います。
野田委員	全体評価、2ページまとめの部分で「平成24年度の取組については、年度計画を順調に実施している」としながら、ただし書きで課題を列挙しています。 その挙げている課題が多く、本当に年度計画を順調に実施していると評価できるのか違和感がありますが、どうでしょうか。
事務局	これまでの年度評価では、課題は毎年度2, 3個程度でした。平成24年度は第2期中期目標期間の初年度ということもあって、例年よりも計画を達成できない項目が多かったのではないかと考えます。 今回挙げられた課題は、今後徐々に改善していくと思います。
元山委員	全体の評価項目数に対しての課題であるため、課題はそんなに多いとは思いません。 また、評価書にはしっかりと課題を明記した方がいいと思います。
清家委員	課題に挙げられているものは、「教育研究等の質の向上」にあたる部分で、評価委員会では専門的な評価を行わないとしている部分にあたります。そのため、課題が多く上がってはいるものの、業務実績の評価としては、順調に実施しているということになります。
山口委員	評価書の最後に参考として評価の考え方が書いてあります。今の構成だと、最後まで読まないで、なぜ、課題が多く挙がっているのに年度計画を順調に実施しているという評価になるのかがわかりません。
崎元委員長	業務実績の評価以外の部分で課題を指摘しているので、全体評価の流れに違和感があるようです。 ただし書きの前段で、「教育研究の質の向上については評価しないこととしているが、以下の点において、平成24年度の年度計画が達成されていない」として、以下課題を列挙する形でつなげていくのはいかがでしょうか。

委員一同	(異議なしの声あり。)
事務局	了解しました。また、最初の部分で議論にあがりまして、鉤括弧の取扱いについても併せて検討していきたいと思えます。
崎元委員長	<p>文言の修正等がありますが、委員の皆様におかれましては、大変御多忙のことと存じますので、9月議会前にもう1回委員会を開催することは困難と考えております。</p> <p>最終的な文書校正は私に一任いただき事務局と調整をさせていただければと考えておりますが、いかがでしょうか。</p>
委員一同	(異議なしの声あり。)
崎元委員長	<p>修正内容については、私から事務局に指示し、評価書の最終案を作成いたします。</p> <p>続いて、その最終案を各委員にお送りし、委員の皆さま全員の御了解をいただき、最終的な評価書として決定します。</p> <p>以上のように考えておりますが、いかがでしょうか。</p>
委員一同	(了承の声あり。)
崎元委員長	後の手続きについて事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>決定後は、年度計画番号を取ったものとしますので、御了解願います。</p> <p>また、今後のスケジュールとしましては、評価実施要領に基づき、法人の意見を聴くこととなります。</p> <p>法人からの意見があった場合は、修正の場合と同様に、委員長とご相談のうえ対応させていただきたいと思えます。</p> <p>その後、評価委員会から、この評価結果について知事に対しては報告、法人に対しては通知をする運びとなります。</p> <p>なお、9月頃には、この評価結果を県民に公表することとしており、具体的には県のホームページを通じての公表を考えております。</p> <p>また、併せて県においては、9月県議会において報告する予定としております。</p> <p>今年度の評価委員会は、本日をもちまして最後となります。</p>
総務私学局長	<挨拶>
崎元委員長	閉会宣言